

JOB REPORT

新市場にアタック! (鑄造業界) 塗型吹付機に挑戦

鑄造所では、鑄型の表面に仕上がりを滑らかにするために特殊な液を塗布する工程がある。従来は刷毛塗りをしていたが作業性が悪いため、現在はダイヤフラムポンプを使用して攪拌および吹き付けをしている。しかし、この液剤が特殊なためにトラブルが絶えず、攪拌能力も弱く困っておられた。

内容・液剤は工業用アルコールに比重の重い粉体を混入したもので、摩耗性が非常に高く回転体がよく摩耗しライニングコストが高つく。また、高比重のためタンク内を均一に攪拌できない。アルコールは揮発性のため、すぐに固まり硬くなって溶けず、ポンプは防爆形か電気以外での駆動が必要。

上記の条件を検討し、試行錯誤の結果生まれたのがこの塗型吹付機。攪拌はタンク内のシリンダーに取り付けられた搔板で全体を左右に攪拌し、駆動源は鑄造所には必ずあるエアとして、ポンプはチューブポンプを使用し、タンクから離して設置した。納入以来トラブル無く、大変好評を得ている。

仕 様 チューブポンプ…形式ETK-25-2

口径38mm、出力0.75kW

攪拌タンク………エア駆動式(電磁弁制御)

制御盤………チューブポンプ用可逆SW、

電磁弁制御SW、ボール付き

納 入 先 (有)相葉合金所殿 (佐賀県唐津市)

